

令和5年度の活動

- ◆本格的な整備活動も2年目となり、令和5年度の活動も順調に終了しました。
- ◆弱った桜の古木を復活させるべく樹木医の診断を受け、応急的措置をしました。
- ◆八丁目城跡の標柱と説明案内板を移設しました。
- ◆八丁目城跡の「堀切」等説明板を設置しました(11枚)
- ◆杉林の一部を伐採し、3月には「いろはもみじ・もにわ桜」を植林の予定です。
- ◆八丁目城と宿場町を結ぶ、八丁目文化について学習しました。
講演会／フィールドワーク・俳句会など
- ◆八丁目城跡遊歩道の草刈り整備を実施しました。(6～11月)



作業内容の確認



八幡館(南館)の整備



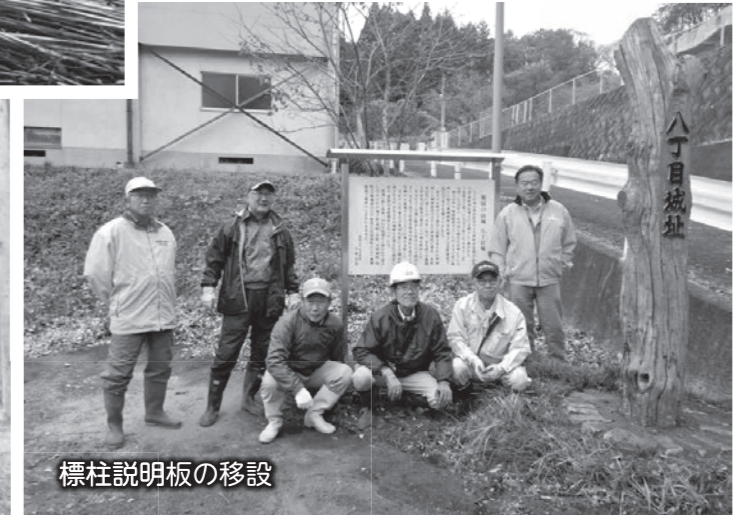
幼稚園の草取り/清掃



西光寺境内の文学碑



桜の古木を樹木医が診断



標柱説明板の移設

令和5年度の草刈り等活動状況

5月31日(水) 事務局+有志	9人
6月11日(日) 全体	36人
7月 8日(土) 中町、本町、天明根	17人
8月 6日(日) 小池、西郷、向町	24人
9月10日(日) 南町、石合町、まちづくり委員会	24人
10月15日(日) 町会連、商工会、観光協会	33人
11月12日(日) 全体	32人
R6/1月12日(金)～樹木医診断	5人
1月20日(土) 八丁目文化歴史講演会	41人
2月 4日(日) フィールドワーク、句会	30人
2月 8日(木) 説明板設置 委託	



「八丁目文化を知らう！」学習会を開催！

八丁目城の城下町として形成され、江戸時代に宿場町として発展した八丁目宿。特に幕末には後世「八丁目文化」と呼ばれるようになったほどの文化人たちの交流がありました。

1月20日(土)には歴史講演会を開催し、俳諧や短歌、狂歌など宿場町に花開いた「八丁目文化」について学習しました。

講師は、松川町在住で信達歴史文化研究会の「星隆」さんです。星さんは、3年前にますや旅館に残された加藤候一の絵画「鳥羽絵」や古文書を解説するなど、八丁目文化に詳しく、西光寺や盛林寺の文学碑にも精通されています。

当日は41名もの聴講者がありました。



八丁目文化フィールドワークと体験句会・歌会！



2月4日(日)、西光寺と盛林寺の文学碑を巡るフィールドワークを行いました。先の講演会で学習した短歌や俳句の碑に直接触れて、約200年前の文化人たちが活動する姿を感じたのではないのでしょうか。案内は文化財保存会の齋藤ミチ子会長等4名が担当しました。ゴールの旧西

幼稚園では、毎年祭礼の際に奉納されている八丁目天満宮の短歌、中町稲荷神社の俳句を觀賞すると共に、参加者は句会・短歌会の体験を楽しみました。

投稿された作品は、事務局の阿部孝司さんが色紙や短冊に転記し、西幼稚園に掲示して参加者に披露しました。

次に、参加者全員に自分の好きな短歌を選んでいただき、体験会押しの短歌として紹介しました。



八丁目文化に触れる 俳句・短歌の体験会 (皆で選んだもの)

八丁目 江戸に轟く 文人墨客
だんごさし 子らの笑顔も かざりける
陽だまりに 梅花膨らむ 睦月かな
古と 誘われ行く 春の雲
春風に 古信夫や 八丁目宿

和田真弓
佐藤 清子
後藤 正春
関 進子
後藤 正春



城跡と 思いかぶる 宿並の 昔人通りし 八丁目宿
今知らず 先人刻む 石読めば 栄華たどりて 思いおこせり
三味の音の 弾む格子戸 八丁目 百舌鳥廻舎俳の 花盛りなり
先人の 古碑に佇み 思いやる 栄えし古宿に 早春の風

荒木 哲
斎藤 孝幸
加藤 順子
後藤 正春